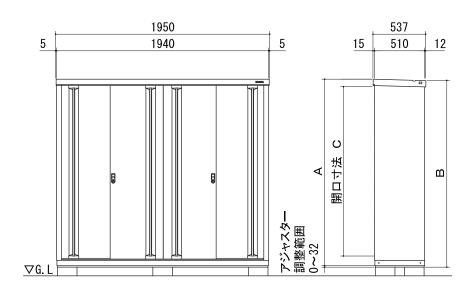
イナバ物置 シンプリー 組立説明書 JN13

MJN-195C,195CP　MJN-195D,195DP　MJN-195E,195EP

このたびは、イナバ物置「シンプリー」をお買い上げくださいまして誠にありがとうございました。私たちは、この製品の開発にあたって「良いものを安く」をモットーに、苦心して作り上げました。どうぞ末永くご愛用いただきますようお願い申し上げます。なお、この製品の組み立て、ご使用にあたっての注意についてご説明いたしますので、かならずお読みください。

外形図

（単位:mm）

機種	高さ寸法		開口寸法
	A	B	C
MJN-195C, CP	1303	1297	1148
MJN-195D, DP	1603	1597	1448
MJN-195E, EP	1903	1897	1748

機種別梱包一覧表

イナバ物置MJN-各型の部品は、下記梱包に分けられております。梱包番号と個数をご確認ください。
※下記部品のほかに、コンクリートブロック6個(アンカープレート使用時は、セメント・砂・砂利)を準備してください。

機種（梱包数）			MJN-195C（9梱包）	MJN-195D（9梱包）	MJN-195E（9梱包）
	全面棚タイプ		MJN-195C（9梱包）	MJN-195D（9梱包）	MJN-195E（9梱包）
	長もの収納タイプ		MJN-195CP（10梱包）	MJN-195DP（10梱包）	MJN-195EP（10梱包）
梱包名称・梱包番号	ベース・床		H3-1950	H3-1950	H3-1950
	屋根		H3-1958	H3-1958	H3-1958
	側板		H3-1503	H3-1504	H3-1505
	壁パネル		H3-3443	H3-3444	H3-3445
	壁パネル		H3-2343	H3-2344	H3-2345
	扉	プレミアムグレー	H3-6913	H3-6914	H3-6915
	扉	フレンドリーホワイト	H3-6923	H3-6924	H3-6925
	扉	アンティークローズ	H3-6933	H3-6934	H3-6935
	扉	オリーブグリーン	H3-6943	H3-6944	H3-6945
	扉	メープルブラウン	H3-6953	H3-6954	H3-6955
	扉	ファインシルバー	H3-6963	H3-6964	H3-6965
	全面棚タイプ	棚支柱	H3-3277	H3-4277	H3-5277
	全面棚タイプ	棚板	H2-3072	H2-3072	H2-3072
	全面棚タイプ	棚板	H2-1472	H2-1472	H2-1472
	長もの収納タイプ	棚支柱	H3-3277	H3-4277	H3-5277
	長もの収納タイプ	棚支柱	H3-3477	H3-4477	H3-5477
	長もの収納タイプ	棚板	H2-1472	H2-1472	H2-1472
	長もの収納タイプ	棚板	H2-3772	H2-3772	H2-3772

INB 株式会社 稲葉製作所

安全のために必ずお守りください。

ここに記載してある事柄は、人や物に対して危害・損害を未然に防止し、製品をより安全かつ正しく組み立てて頂くためのものです。

マークの説明		
	⚠ 注意	安全のために必ずお守りください。死亡・ケガの原因になります。
	⚠ 留意	これらの点にもご留意ください。ケガ・損害の原因になります。

収納庫の設置について

⚠ 注意

1.転倒防止工事を必ず行ってください。
⇒転倒防止工事がされていない場合、強風等により転倒し、傷害事故につながります。また、収納物に被害を与えます。

2.崖の縁や屋上など、安全の確認できない場所への設置は避けてください。
⇒強風により転倒、落下の危険があります。

⚠ 留意

1.家からの雪が直接屋根に落ちて来る場所への設置は避けてください。
⇒変形・破損により、雨もりの原因になったり収納物に被害を与えます。

2.マンションのベランダに設置する場合は、避難通路を確保してください。
⇒非常時に避難通路として使えなくなります。

3.家の屋根からまとまった雨水が直接屋根や壁に落ちないように配慮してください。
⇒雨もりの原因になります。

収納庫の組み立てについて

⚠ 注意

1.風の強い日の組み立ては避けてください。
⇒強風のため部材が飛んでケガをしたり、部材の転倒による破損原因になります。

2.ユーザーの組み立てはなるべく2人以上で行ってください。
⇒一人で無理をされると、部材の転倒・落下によるケガの原因になります。

3.30kg以上の梱包や部材の運搬は、2人以上で行ってください。
⇒ケガをしたり腰を痛める原因になります。

4.組み立て時は、ヘルメット・手袋・長袖シャツなどの保護具の着用をしてください。
⇒ケガの原因になります。

5.組み立て中は部材の転倒防止のために、つっかい棒やロープなどをお使いください。
⇒組み付け時の部材の落下や突風による部材の転倒により、ケガをしたり部材の破損につながります。

6.組み立て途中で放置しないでください。
⇒強風などにより部材が飛散・転倒してケガをしたり、部材の破損につながります。

組立が完了したら

保証書・取扱説明書・組立説明書は、保管ケース(側板に貼り付けてあります。)に入れて大切に保管してください。

●梱包別部品一覧

各梱包には下記部品がはいっておりますので、内容と個数をご確認のうえ組み立ててください。

<ベース·床>

品番	部品名	数
1	ベース	1
6	床パネル	1
●	部品箱	1

部品箱

六角ボルト	ネジ板	パッキン付ネジ板	転倒防止金具	鎖取付金具	アンカープレート
44本	16枚	13枚	2個	2個	4セット
目隠しキャップ	ボルトキャップ	扉調整ボルト	木ネジ	Pフック	
6個	10個	4個	2本	2本	

コーナー金具	水準器	ワイヤー	ボックススパナ	フックバー
右1個 左1個	1個	2本	1個	1個

・組立説明書(本書)　・取扱説明書　・保証書　・型式ネーム

※ボルト、ネジ板は、各1個(MJN-195C、CPはボルト7本、ネジ板1枚、パッキン付ネジ板7枚)予備を含んだ数量です。

※「取扱説明書」、「保証書」も、かならずお読みください。

<屋根>

品番	部品名	数
4	屋根	1

<側板>

品番	部品名	数
2R	側板右	1
2L	側板左	1
41	棚支柱A	1

<壁パネル>×2梱包

品番	部品名	数
31	壁パネル	2·3

※壁パネル梱包には小2枚入と大3枚入があります。

<扉>

品番	部品名	数
34R	扉右	1
34L	扉左	1
35R	扉中右	1
35L	扉中左	1

<棚支柱>

品番	部品名	数
42	棚支柱B	1
43	棚支柱CC	2
	六角ボルト	2

<棚支柱>※長もの収納タイプのみ

品番	部品名	数
50	棚支柱T	1
42	棚支柱B	1
43	棚支柱CCJ	2
	六角ボルト	3
	ネジ板	1

<棚板>×2梱包

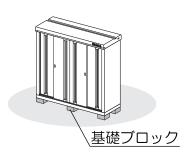
品番	部品名	数
●	棚板	2
	棚フック	8

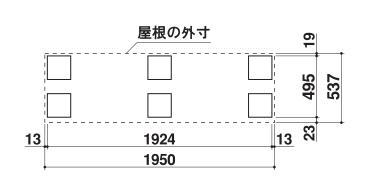
※棚板には2種類の大きさがあります。

●品番が白抜番号の部品には、製造番号が打ってあります。組み立て時、不具合が起きた場合はその部品の製造番号を確認し、ご連絡ください。

組立順序のご説明

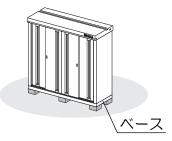
組み立てにあたって、部品の共通性･互換性を持たせるために、取り付け穴が余分にあけてあります。相手に穴のない所はボルト締めの必要はありません。各取り付け穴は、組み立てを容易にするために余裕を持たせてあります。片寄った締め方をすると、部品が入らなかったり穴が合わない場合がありますので、この場合はボルトをゆるめ調整してください。

1．基礎

①地ならし・地固めをします。
②コンクリートブロックを水平に設置します。

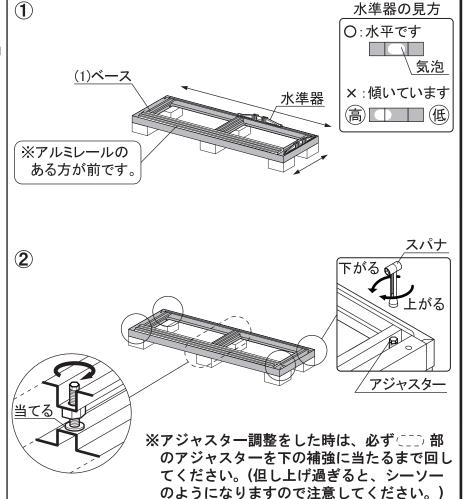
⚠
地固めをしないと、内部に品物を入れた時に重みで水平がくるい、戸当たりが悪くなりますのでご注意ください。

（単位:mm）

2．ベース設置

使用梱包 ベース･床

※梱包内の床パネルは**「7.床パネル取付」**で使用します。

①ベースを設置し、水準器を使って四方の水平を確認します。
②水平がくるっている場合は、四隅のアジャスターをスパナで微調整（調整範囲0～32mmまで）してください。

※調整方法
四隅のうち一番高い所を見極め、そこに高さを合わせるようにして低い所のアジャスターを上げてください。

※アジャスター調整をした時は、必ず（破線）部のアジャスターを下の補強に当たるまで回してください。（但し上げ過ぎると、シーソーのようになりますので注意してください。）

※内アンカー工事をする場合

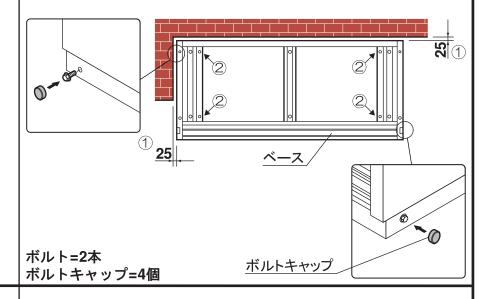
転倒防止工事のうち、内アンカー工事を行う場合は下記要領で行ってください。内アンカー工事を行わない場合は**「3.側板取付」**へお進みください。

①ベースを建物の壁や障害物から25mm以上のスキマ(屋根の出幅分)をあけて設置します。

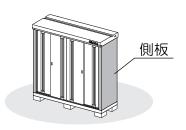
※左右のスキマがせまい場合は、先に「3.側板取付」で側板を取り付け、ベース後部側面の穴にボルトを取り付けたあと、ボルトキャップを取り付けてください。

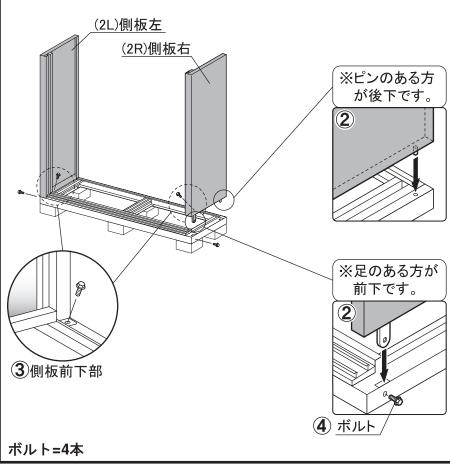
②四隅の穴にマークをし、M10アンカーボルト4本(市販品)で固定してください。

③**「2.ベース設置」**の要領で水平を調整します。

ボルト=2本
ボルトキャップ=4個

3. 側板取付

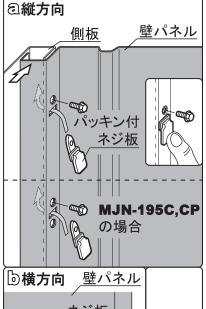
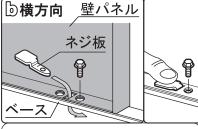
使用梱包 側板

※梱包内の棚支柱は**「6.棚支柱A取付」**で使用します。

①側板に貼り付けてある棚支柱を取り外します。
②側板の前の足をベースの角穴に差し込み、後ろのピンをベースの丸穴に押し込みます。
③側板前下部を内側からボルトで固定します。
④側板の前の足を外側からボルトで固定します。

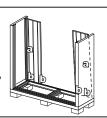
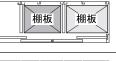
ボルト=4本

4．壁パネル取付

使用梱包　壁パネル

①壁パネル(大)を側板後ろにはめ込み、縦方向ⓐをボルトとパッキン付ネジ板で取り付け、横方向ⓑをボルトとネジ板で取り付けます。
②残りの壁パネル(小、大)も同様に取り付けます。
※真中の壁の取付によって棚の配置が変わりますので、コの字の曲げ部に注意して図を参考に取り付けてください。

①

※ネジ板を指で押えながらボルトをしめます。

※壁パネルに上下はありません。
※コの字に曲がっている方が側板側です。

(31)壁パネル:大

MJN-195C,CP の場合、ⓐは右図のようになります。

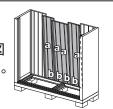
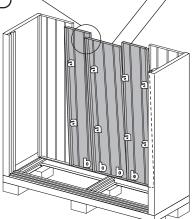
②

棚の配置		壁の取付
全面棚タイプ	棚板(大) 棚板(小)	左から3枚　右から2枚 大 小 大 小 大 棚支柱A※1 棚支柱T※2
長もの収納タイプ	棚板 棚板	
全面棚タイプ	棚板(小) 棚板(大)	左から2枚　右から3枚 大 小 大 小 大 棚支柱A※1 棚支柱T※2
長もの収納タイプ	棚板 棚板	

※1 棚支柱Aは**「6.棚支柱A取付」**で取り付けます。
※2 棚支柱Tは**「9.棚支柱T、CCJ、B取付」**で取り付けます。

MJN-195C,CP の場合、ⓐは右図のようになります。

※先に取り付けてある壁パネルに、コの字の曲げ部をかぶせて取り付けます。

※棚の配置によっては、図と左右が逆になります。

ボルト=20・14本
ネジ板=8枚
パッキン付ネジ板=12・6枚

5．屋根取付

使用梱包 **屋根**

①屋根を乗せ、４隅が本体にかぶさっているか確認します。
※別売の雨といは、屋根を乗せる前に取り付けてください。
②コーナー金具とボルトで側板前上部に固定します。
③ボルトとネジ板で壁パネル(Ⓒ)と固定します。

① ※アルミレールのある方が前です。
(4)屋根
コーナー金具(左)
コーナー金具(右)
ボルト=14本
ネジ板=6枚

コーナー金具(左)
② 屋根
側板
※ツメが側板に刺さる方向で取り付けます。

③ Ⓒ
ネジ板

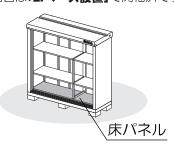
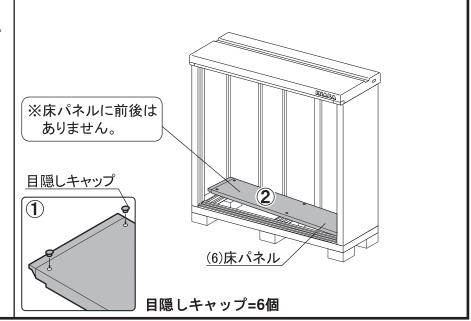
6．棚支柱A取付

使用梱包 **側板**
※梱包は**「3.側板取付」**で開梱済です。

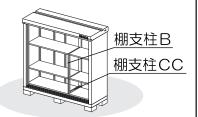
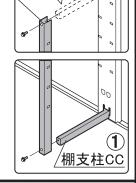
①下部のベロで壁パネルのつなぎ目をはさみ込みます。
※棚支柱Aは棚の配置によって取付位置が変わりますので「4.壁パネル取付」の②を参考に取り付けてください。
②ボルトとネジ板で屋根と取り付けます。

※ ○▯○穴のある方が上です。
②
①
棚支柱A
下部のベロ
ボルト=1本
ネジ板=1枚

7．床パネル取付

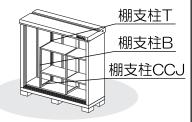
使用梱包 **ベース・床**
※梱包は**「2.ベース設置」**で開梱済です。

①床パネルに目隠しキャップを取り付けます。
②床パネルをベースにはめ込みます。
※別売のスライド床は、床パネルをはめ込む前に取り付けてください。

8 .棚支柱B、CC取付

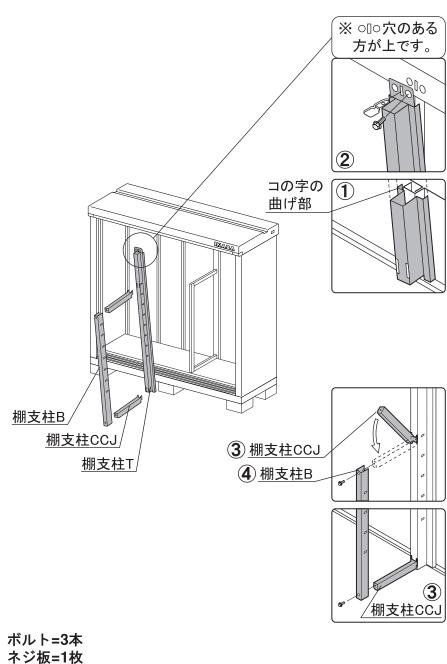
使用梱包 **棚支柱**

※全面棚タイプのみ組み立てが必要です。長もの収納タイプの場合は**「9.棚支柱T、CCJ、B取付」**へお進みください。

①棚支柱Aの角穴に棚支柱CCを差し込みます。(2本)
②棚支柱Bを棚支柱CCにボルトで取り付けます。

ボルト=2本

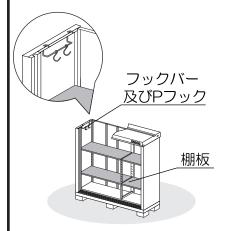
9 .棚支柱T、CCJ、B取付

使用梱包 **棚支柱**

※長もの収納タイプのみ組み立てが必要です。全面棚タイプの場合は**「10.棚板・フックバー・Pフック取付」**へお進みください。

①棚支柱Tを壁パネルのコの字の曲げ部にあわせて立てます。
※棚支柱Tは棚の配置によって取付位置が変わりますので「4.壁パネル取付」の②を参考に取り付けてください。
②棚支柱Tをボルトとネジ板で屋根と取り付けます。
③棚支柱Tの角穴に棚支柱CCJを差し込みます。(2本)
④棚支柱Bを棚支柱CCJにボルトで取り付けます。

ボルト=3本
ネジ板=1枚

10.棚板･フックバー･Pフック取付

使用梱包 **棚板**

※棚フックは棚板の梱包内に入っています。部品箱には入っていません。

①棚フックを角穴部に引っかけます。（棚板1枚に棚フックを4個使用します。）

②棚板を乗せます。（棚板の配置によっては、図と左右が逆になります。）

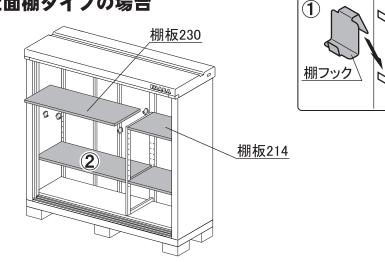
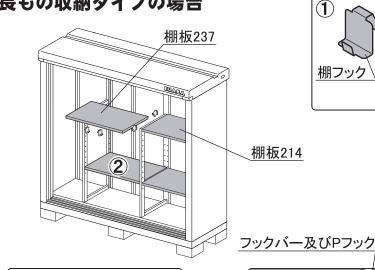
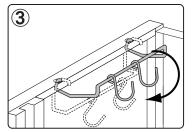
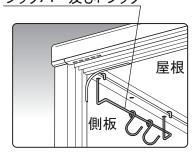
③フックバーにPフックを通してから側板上部の穴に引っかけます。

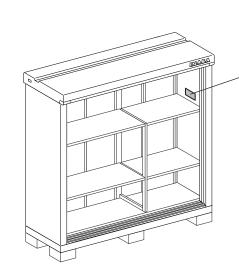
●全面棚タイプの場合

①
棚フック

●長もの収納タイプの場合

①
棚フック

フックバー及びPフック

11.型式ネーム貼付

部品箱内の「型式ネーム」シールを側板右上部内側に貼り付けます。

イナバ物置 シンプリー

MJN-19□C (高さ1300mm)
MJN-19□D (高さ1600mm)
MJN-19□E (高さ1900mm)

部品の関係上、3種類の型式を表示しております。お問い合わせの際は、お手数ですが寸法をご確認のうえ型式と製造番号をご連絡ください。

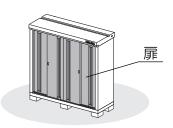
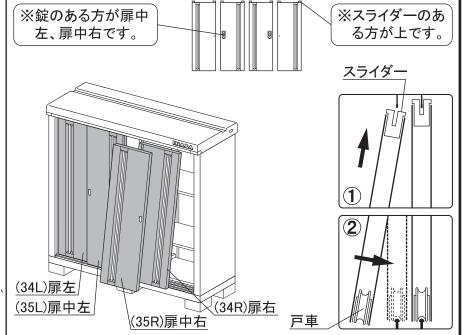
製造番号

INB 株式会社 稲葉製作所

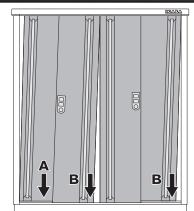
型式ネーム

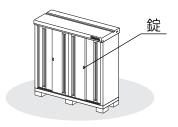
12.扉取付

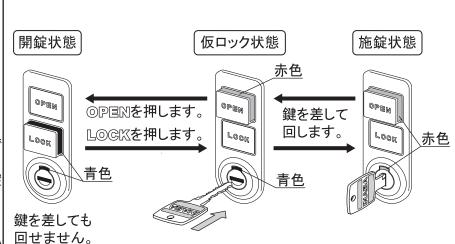
使用梱包 扉

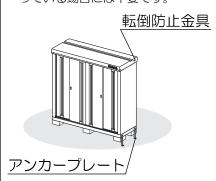
※鍵は扉の裏側に貼ってあります。

①扉左のスライダーを屋根のレール(奥側)にはめ込みます。
②戸車をベースのレール(奥側)に乗せます。
③同様に扉中左(手前側のレール)、扉右(奥側)、扉中右(手前側)の順に取り付けます。

13.戸当たり調整

扉を閉めて右図のようにスキマ(3mm程度)ができた場合は、A、B部の戸車を下記の要領で調整してください。

①戸車を固定しているボルトを4、5回転ゆるめます。
②部品箱内の扉調整用のボルトで戸当たりを調整します。
③最初にゆるめたボルトを締め付けます。

※3mm以上のスキマや上記の要領で調整できない時は、目隠しキャップをはずしベースの水平を出し直してください。(「2.ベース設置」を参照)

14.施錠方法について

錠は仮ロック付です。(鍵を使わずに仮にロックできる機構が付いています。)右記方法に従って施錠してください。

LOCKボタンを押しただけでは鍵はかかりません。(仮ロック状態)施錠の際は必ず鍵を使ってください。

15.転倒防止工事

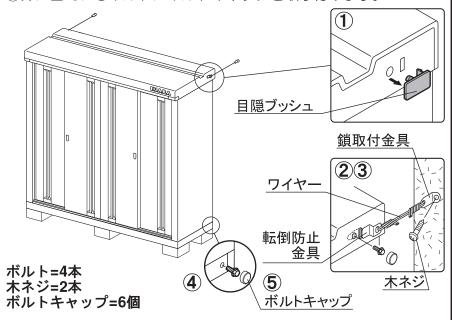
※「**2.ベース設置**」で内アンカー工事を行っている場合には不要です。

下記方法から選んでください。

A. ワイヤー工事
B. アンカー工事

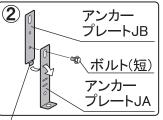
転倒防止工事は必ず行ってください。転倒防止工事がされていない場合、強風等により転倒し、傷害事故につながります。また、収納物に被害を与えます。

A.ワイヤー工事

①屋根側面後部の目隠ブッシュをはずします。
②転倒防止金具を屋根にボルトで取り付けます。
③ワイヤー、鎖取付金具を使い、建物の壁や柱等に固定してください。
④ベース後部側面の穴にボルトを取り付けます。
⑤外に出ているボルトにボルトキャップを取り付けます。

ボルト=4本
木ネジ=2本
ボルトキャップ=6個

B.アンカー工事

イ）地盤が土の場合

①ベースの四隅に25cm角の穴を掘ります。
②アンカープレートJAとJBを組み合わせます。
③ベースにアンカープレートを取り付けます。(前側は、側板を止めているボルトを使います。)
④外に出ているボルトにボルトキャップを取り付けます。
⑤コンクリートを流し込みます。

※ツメを差し込んでからボルトを締めます。

ボルト(短)=4本
ボルト=2本
ボルトキャップ=8個

③ アンカープレート
④ ボルトキャップ
⑤

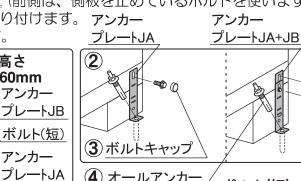
※1ヶ所にセメント5kg,砂9ℓ,砂利12ℓ以上が必要です。

ロ）地盤がコンクリートの場合

①基礎高さに合わせて、アンカープレートJAとJBを組み合わせます。
②ベースにアンカープレートを取り付けます。(前側は、側板を止めているボルトを使います。)
③外に出ているボルトにボルトキャップを取り付けます。
④M10オールアンカー(市販品)で固定します。

① **基礎高さ 100～115mm** | **基礎高さ 130～145mm** | **基礎高さ 145～160mm**

アンカープレートJB
ボルト(短)
アンカープレートJA

※アンカープレートJAのみ使います。

※ツメを差し込んでからボルトを締めます。

ボルト(短)=0･4本
ボルト=2本
ボルトキャップ=4･8個

INB 株式会社 稲葉製作所
本社　〒146-8543　東京都大田区矢口2-5-25

[製品のお問い合わせは各営業所で承ります。]

●仙 台 営 業 所（担当地域：青森・秋田・岩手・宮城・山形・福島）
〒984-0002　宮城県仙台市若林区卸町東3-4-15　☎(022)287-1000　FAX(022)287-1783

●東 京 営 業 所（担当地域：北海道・東京・埼玉・栃木・群馬・長野・新潟）
〒146-8543　東京都大田区矢口2-5-25　☎(03)3759-5111　FAX(03)3759-5317

●千 葉 営 業 所（担当地域：千葉・茨城）
〒270-1455　千葉県柏市金山1000　☎(04)7192-0625　FAX(04)7192-0851

●神奈川営業所（担当地域：神奈川・山梨）
〒242-0018　神奈川県大和市深見西2-5-33　☎(046)264-2656　FAX(046)263-9488

●静 岡 営 業 所（担当地域：静岡）
〒421-1131　静岡県藤枝市岡部町内谷1218-1　☎(054)667-6711　FAX(054)648-0025

●名古屋営業所（担当地域：愛知・岐阜・三重・富山・石川・福井）
〒484-0888　愛知県犬山市羽黒新田字笹野1　☎(0568)67-3771　FAX(0568)67-7118

●大 阪 営 業 所（担当地域：大阪・京都・奈良・滋賀・和歌山・兵庫・岡山・香川・徳島・愛媛・高知）
〒663-8142　兵庫県西宮市鳴尾浜1-6-17　☎(0798)43-1311　FAX(0798)43-1318

●広 島 営 業 所（担当地域：広島・山口・鳥取・島根）
〒731-3167　広島県広島市安佐南区大塚西5-3-23　☎(082)849-6688　FAX(082)849-6687

●福 岡 営 業 所（担当地域：福岡・佐賀・長崎・大分・熊本・宮崎・鹿児島・沖縄）
〒813-0023　福岡県福岡市東区蒲田3-18-35　☎(092)663-2270　FAX(092)663-2273

'11.02(A)